

9/22  
高山産そば粉を使って蕎麦打ちに挑戦！  
なごみ組3時間目

9月22日になごみ組3時間目が行われ、後藤幸三さんを講師にお招きして高山村産のそば粉を使った蕎麦打ち体験を行いました。初めは後藤さんのお手本を見た後、それぞれのグループに分かれて蕎麦打ちを開始！親子で参加してくださった方もいて、子ども達の一生懸命に蕎麦をこねる姿がとても可愛かったです。打ち立ての蕎麦は早速昼食でいただき、皆さんその美味しさに感動されていました。次回のなごみ組は11月24日(土)、わら草履作りをします。参加者は随時募集中！詳しくは「むらの学校ホームページ」をご覧ください。



10/6  
辰ついに刈られる

10月6日、6月から行き交う人々を楽しませてくれた田んぼアートの稲刈りが行われ、村内外から約25名の方が参加しました。色の異なる稲が混ざらないように気をつけながら、鎌で刈り取って束ね、はんでに掛けました。10時休みや昼食には、村の食材を使った手作りまんじゅうや煮込みうどんが振る舞われ、参加者は実りの秋を感じていました。



9/29  
里芋収穫&芋煮！  
はたけ組6時間目

9月29日にははたけ組6時間目が行われ、里芋の収穫を行いました。昼食には掘りたての里芋を使った芋煮と、事前に作っておいたマトビュレを使って鶏肉のトマト煮を作りました。味付けにこだわったのでとても美味しくできました。芋煮は里芋のねばりがすごく、掘りたての美味しさを実感しました。

むらの学校の様子は、「むらの学校ホームページ」をご覧ください。

<http://www.vill.takayama.gunma.jp/~info/muranogakkou/index.html>



10/10  
一粒のお米を  
大切に

10月10日、高山小学校5年生と高山幼稚園5歳児が合同で餅米の稲刈りを行いました。

まずは、5年生が鎌で稲を刈り束ね、それを5歳児がはんでまで運びました。途中、束ね方がゆるいので、急きよ束ね方をチェックする係が作られ、一束一束厳しくチェックを受けていました。また、先生の指示で、一粒のお米も無駄にしな



いように落ち穂拾いもしました。5月に田植えをし、10月に収穫した餅米で親子行事の餅つきを行います。みんなが頑張ったので美味しいお餅になることでしょう。

10/11  
『小学校伝統芸能  
教室』開催

10月11日(木) 小学校において県民芸術祭参加事業「高山小学校伝統芸能教室」が開催されました。

今年で14回目になる伝統芸能教室は、尻高人形錦松会が所属する「ぐんま人形芝居連絡協議会」が(財)群馬県教育文化事業団より委託され、小・中学生に地域の伝統芸能に興味・関心をもってもらうために実施している教室です。

希望した児童8名による「伽羅先代萩政岡忠義の段」の実演体験が行われ、全校児童の前で練習の成果を堂々と発表しました。

保護者をはじめ村民の方々、デイサービス利用の大勢の方々をして今年度から高山中学2年生も音楽の授業の一環とし



て鑑賞され、賑やかな教室になりました。児童の実演の後には、人形操作・三味線・義太夫等に直接触れられる体験学習タイムを設け、錦松会座員や実演を終えた児童に操作や弾き方等の指導や説明をしていただきました。

その後、錦松会座員から「太功記十段目尼ヶ崎の段」の上演を見せていただきました。

10/15  
芸術の日

10月15日、高山中学校では学校周辺において全校生徒による写生大会が行われました。

大自然を目の前に楽しもうに伸び伸びと描き、生徒の傍らでは、美術の先生や担任の先生が熱心に指導していました。昼食は、給食ではなく、各自持参したお弁当を青空の下で、おいしく食べました。



10/11  
電話対応  
コンクール  
群馬県大会  
開催される

10月11日(木)、電話対応コンクール群馬県大会が、高崎市で開催されました。

コンクールは、正しい日本語を守り伝えると共に、各事業所の電話対応サービスとトーク技術のレベルアップを図るために、日本電信電話ユーザー協会が毎年実施しているものです。県内事業所から50名が参加し、競い合いました。本村から役場農政課職員平形佑太さんが、吾妻郡の代表として参加し、見事7位に入賞・優良賞を受賞しました。

電話の声は、事業所の顔となります。今後、電話の対応・接遇等の研修を重ね、職員の資質の向上を計り、村民みなさんから親しまれる職場を目指して行きたいと思

